



ヤブツカツクリ

2013年1月に、生物多様性の観察を目的として研究室全員でオーストラリア北部を訪れた。ケアンズ郊外の熱帯雨林には、この鳥が家禽のようにあちこちで歩く姿がみられた。ヤブツカツクリ Australian brush-turkey という野生の鳥で、英名にもあるように七面鳥の仲間に見える。ところが、全く系統の違うツカツクリ科に属す（七面鳥はニワトリと同じキジ科）。親鳥は卵を一切暖めず、腐葉土を積み上げて造った塚（マウンド mound）内の熱で孵化させる。この塚は直径4 m 高さ1~2 m にもなり、♂は孵化までの間、塚の中の温度を33~38° Cになるよう調節する。（林研究室）

8 August

2013

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31